

■振り込め詐欺の新たな手口～現金を直接取りに来るケース～■（5月）

<相談事例>

A T Mを直接操作誘導する手口が金融機関等の協力により未然に防止されるようになり、最近では直接現金を取りに来るケースが増えています。こんな手口です。

息子になりすました他人から「お金の入ったカバンをデパートのトイレに置き忘れた」との連絡があった。しばらくして、「カバンは見つかったけど、取りに行く時間がない。すぐにお金が必要だから、お金を用意してほしい。自分の代わりに同僚が取りに行くから・・・」と、再度連絡があった。話を信じて、待ち合わせ場所に向かい、同僚役を演じる別人に現金を渡してしまった。その後、騙し取られたことに気付いた。

<アドバイス>

最近では、このようにお金を振り込ませずに直接手渡しさせたり、宅急便で送らせたりする詐欺の手口が増えています。「お金を用意してくれ」と言われたら、「詐欺」の可能性を疑って下さい。

<こんな電話がかかってきたら、危ない！>

- 携帯電話の番号が変わった
- インフルエンザ、風邪で声が変わっている
- 大変なことになった、今すぐお金が必要だ
- 預金通帳、印鑑、キャッシュカードを預かります
- お金を融資するから、先の保証金を振り込んで
- お金を還付するから、A T Mに行って
- 代理の人間が行くから、渡してほしい
- カードの暗証番号を教えて
- 今日中にお金を振り込んで
- 宅配便でお金を送って

※ 相手の指示通りに動いたり、お金を用意したりする前に、冷静な気持ちで「確認」を行うことが必要です。一人で悩まず、消費生活センターや警察に相談

しましよ！